

目 次

1	発刊に寄せて	2
	日ロ沿岸市長会代表幹事 新潟市長 中原 八一	
	日ロ極東シベリア友好協会会長 ハバロフスク市長 クラブチュク S.A.	
2	日ロ（日ソ）沿岸市長会設立趣旨と主な活動	3
3	日ロ沿岸市長会、日ロ極東シベリア友好協会会員市一覧	4
4	日ロ（日ソ）沿岸市長会発足に至る経緯と会員市の変遷	6
5	日ロ（日ソ）沿岸市長会議沿革	8
	開催地、参加市、議題	8
	会議での合意に基づく両国政府や関係機関への要望書の提出	26
6	その他の活動にかかる補足資料	28
	1) 各種調査・研究	28
	2) 青少年交流・文化交流	28
	3) 実務担当者派遣	29
	4) 講演会の実施	30
7	写真で振り返る50年の歴史	32
8	日ロ沿岸市長会規約	40

1 発刊に寄せて

日ロ沿岸市長会は1970年の設立以来、厳しい両国関係や国際情勢に見舞われた時期にあっても、一貫してロシア（ソ連）極東及びシベリア地域との交流促進に努め、両地域間の協力関係の強化に少なからぬ役割を果たしてまいりました。会の設立と発展に尽力した関係者の皆さまに、この場をお借りして深く敬意を表します。

会の設立50周年を迎えた節目の年は、残念なことに新型コロナウイルスの全世界への感染拡大により、予定されていた事業の大半を行うことができませんでした。一方、オンライン会議システムを活用した意見交換の実施など、両国の交流は感染拡大をきっかけに新しいかたちを見つけることができました。

本会は、設立から半世紀が過ぎ、両地域を取り巻く社会・経済状況は大きく変化しました。各会員市の本会に対するニーズも多様化しており、時代に合った新しい交流の方向性について、会員市の皆さまとともに考えていきたいと思っております。これにより、会員市同士の交流や両地域経済の互恵的な発展が促進されることを期待します。

結びに、会員市、関係者の皆さまのますますのご発展をお祈りするとともに、本会の活動への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



日ロ沿岸市長会代表幹事
新潟市長 中原 八一

尊敬する中原さん！尊敬する友人の皆さん！

ロ日極東シベリア友好協会を代表して、日ロ沿岸市長会設立50周年という大きな節目を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

半世紀にわたる共同作業の中で多くのことが行われました。貿易・経済と投資協力、エコロジーと環境、医療と保健、両市民・児童・アーティスト・スポーツ選手の交換、観光発展に向けて、相互協力の確かな経験が蓄積されてきました。両市間の信頼関係により、ロ日極東シベリア友好協会と日ロ沿岸市長会の活動の枠組みの中で、地域間レベルでの繋がりや拡大と活性化のための強固な基盤が形成されました。環日本海だけではなく、アジア太平洋地域全体においても、まさにハバロフスク市と新潟市は国際ビジネスパートナー関係の発展において主導的な役割を果たしています。

共同作業を通じて蓄積された経験によって、私たちの可能性が広がり、相互理解が強まり、極東及びシベリアの自治体と日本沿岸の自治体間に、新しい協力の方向性が発展するであろうことを確信しています。



ロ日極東シベリア友好協会会長
ハバロフスク市長
クラフチュク S. A.

2 日ロ沿岸市長会設立趣旨と主な活動

本会は、日本の日本海沿岸をはじめとする地域とロシア連邦極東シベリア地域の親善友好と経済協力を促進し、両地域の発展を図ることを目的としています。

本会は、この目的を達成するため次の事業を行なっています。

1. ロシア連邦極東シベリア地域の諸都市の市長と「日ロ（日ソ）沿岸市長会議」を継続的に開催 → 8頁からの「日ロ（日ソ）沿岸市長会議沿革」参照
2. ロシア連邦極東シベリア地域の諸都市とともに両地域の親善友好、経済協力、都市問題に関する調査、研究、情報交換等の実施 → 28頁「各種調査・研究」参照
3. 日ロ両地域の親善友好と経済協力の促進に関し、関係機関へ意見を具申すること → 26頁「会議での合意に基づく両国政府や関係機関への要望書の提出」参照
4. その他本会の目的達成に必要な事業
 - 1) 青少年交流・文化交流 → 28頁「青少年交流・文化交流」参照
 - 2) 実務担当者派遣 → 29頁「実務担当者派遣」参照
 - 3) 観光情報の交換
本会ホームページの会員市紹介欄から、会員各市の観光情報にリンクを貼り付けた。
日本語 <http://www.nichienkai.jp/>
ロシア語 http://www.nichienkai.jp/ru_top/
また、隔年で開催する市長会議に合わせ、各市の観光情報や特産品のPRを行っている。
 - 4) 講演会の実施 → 30頁「講演会の実施」参照

ロ日極東シベリア友好協会会員名簿 (2020年11月現在)

ロ日極東シベリア友好協会会長、ハバロフスク市長	クラフチュク S. A.
ビロビジャン市長	ゴロワトウイ A. S.
ブラゴヴェシチェンスク市長	イマメエフ O. G.
ブラーツク市長	セレブレニコフ S. V.
ワニノ市長	ナウモフ A. A.
ウラジオストク市長	グメニユク O. V.
ドリンスク市長	トゥガレフ A. V.
ジェレズノゴルスク・イリムスキー市長	コズロフ A. Y.
イルクーツク市長	ボロトフ R. N.
ナホトカ市長	マギンスキー T. V.
ネヴェリスク市長	シャベリニク A. V.
ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市長	ブルィズギン K. V.
ポロナイスク市長	ラドムスキー A. M.
ウラン・ウデ市長	シュテンコフ I. Y.
ホルムスク市長	ロブチノフ D. G.
シェレホフ市長	リピン S. N.
ユジノ・サハリンスク市長	ナドサディン S. A.
ヤクーツク市長	アフクセンチェワ S. V.
コムソモリスク・ナ・アムール市長	ジョルニク A. V.
マガダン市長	グリシャン Y. F.

「日ロ沿岸市長会」及び「ロ日極東シベリア友好協会」会員市の概要（人口、面積、国際交流担当部署連絡先、市のPRなど）は、以下のホームページでご覧いただけます。

日本語 <https://www.nichienkai.jp>

ロシア語 https://www.nichienkai.jp/ru_top/

また、会員各市のページには、それぞれの観光情報のサイトのリンクが張られています。
なお、本会の沿革や活動内容などについても、このホームページでご覧いただくことができます。

4 日ソ（日ソ）沿岸市長会発足に至る経緯と会員市の変遷

発足に至る経緯

<昭和 44（1969）年 12 月>

新潟・金沢両市長の間で、昭和 45 年 7 月に行われるハバロフスク日本海沿岸貿易見本市開催中に日本海沿岸地域の各市長とソ連極東・シベリア地域の各市長との会議を開催することで原則的な合意を得た。

<昭和 45 年（1970）年 1 月>

秋田市、酒田市、直江津市、富山市、福井市へ呼びかけ、新潟・金沢両市を含めた 7 市がこの趣旨に賛成し、参加の意向を明らかにした。

<昭和 45 年 1 月>

新潟市長が発起人を代表して、在日ソ連邦大使へ、ソ連側の各市ならびに関係当局への連絡を依頼、併せて大使館に対して協力を依頼、快諾を得る。

<昭和 45 年 4 月>

前述 7 市市長名で新たに男鹿市、五泉市、柏崎市、高岡市、氷見市、新湊市、七尾市、敦賀市、舞鶴市の各市長あて呼びかけを行った。

<昭和 45 年 5 月>

第 1 回関係市長会議を東京で開催

<昭和 45 年 6 月>

在日ソ連邦大使館から、7 月 16 日、ハバロフスク市において、ソ連側からハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ブラーツク市、ウラン・ウデ市の 5 市の市執行委員会議長出席のもとに、第 1 回日ソ沿岸市長会議を開催する旨、正式に通知を得た。

<昭和 45 年 6 月>

第 2 回関係市長会議、並びに在日ソ連邦大使館参事官チャソブニコフ氏を迎えた懇談会を東京で開催。

<昭和 45 年 7 月 16 日>

世界姉妹都市連合がレニングラードで開催した第 5 回「世界姉妹都市会議」に参加した後、ハバロフスク市に於いて第 1 回日ソ沿岸市長会議を開催。

日本側 — 秋田市、酒田市、新潟市、富山市（収入役）、金沢市（助役）

ソ連側 — ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市（副市長）、ブラーツク市、
ウラン・ウデ市

<昭和 45 年 9 月>

第 1 回日ソ沿岸市長会議報告会を新潟市に於いて開催。日ソ沿岸市長会議設立で意見の一致をみる。

<昭和 45 年 9 月>

日ソ沿岸市長会への入会を七尾市、高岡市、新湊市、敦賀市、氷見市、男鹿市、山形市、舞鶴市の 8 市へ呼びかけた。

<昭和 45 年 9 月>

日ソ沿岸市長会設立に関し、在日ソ連邦大使館に意向を伝える。

<昭和 45 年 10 月 13 日>

日ノ沿岸市長会設立総会開催

当初会員市：15 市

秋田市、男鹿市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、直江津市、富山市、
高岡市、新湊市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市

※ 市 は代表幹事市、 市 は幹事市、 市 は監事市

(氷見市は設立総会に出席したが加入せず)

会員市の変遷

年	入会	退会	会員市数 (年度末時点)
1971 (昭和 46) 年	青森、本荘		17
1974 (昭和 49) 年	能代		18
1978 (昭和 53) 年	豊栄		19
1982 (昭和 57) 年	釧路		20
1983 (昭和 58) 年	稚内		21
1984 (昭和 59) 年		能代	20
1991 (平成 3) 年	留萌、能代、村山、氷見		24
1992 (平成 4) 年	函館、境港		26
1994 (平成 6) 年	両津		27
2000 (平成 12) 年		釧路	26
2001 (平成 13) 年		村山、氷見	24
2002 (平成 14) 年		青森、境港	22
2003 (平成 15) 年		稚内、能代	20
2004 (平成 16) 年	釧路	山形、豊栄 (合併による)	19
2005 (平成 17) 年		留萌	18
2006 (平成 18) 年		釧路、柏崎、福井	15
2008 (平成 20) 年	長岡、三条、燕		18
2013 (平成 25) 年		函館	17
2018 (平成 30) 年		酒田、三条、七尾	14
2019 (令和元) 年		男鹿、由利本荘、燕	11

2020 (令和 2) 年 4 月現在の会員市

秋田、新潟、長岡、上越、佐渡、富山、高岡、射水、金沢、敦賀、舞鶴 (11 市)

5 日口（日ソ）沿岸市長会議沿革

第1回日ソ沿岸市長会議

期 日 1970年7月16日

場 所 ソ連邦 ハバロフスク市

参加市 日本側…秋田市、酒田市、新潟市、富山市、金沢市

ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラン・ウデ市、ブラーツク市

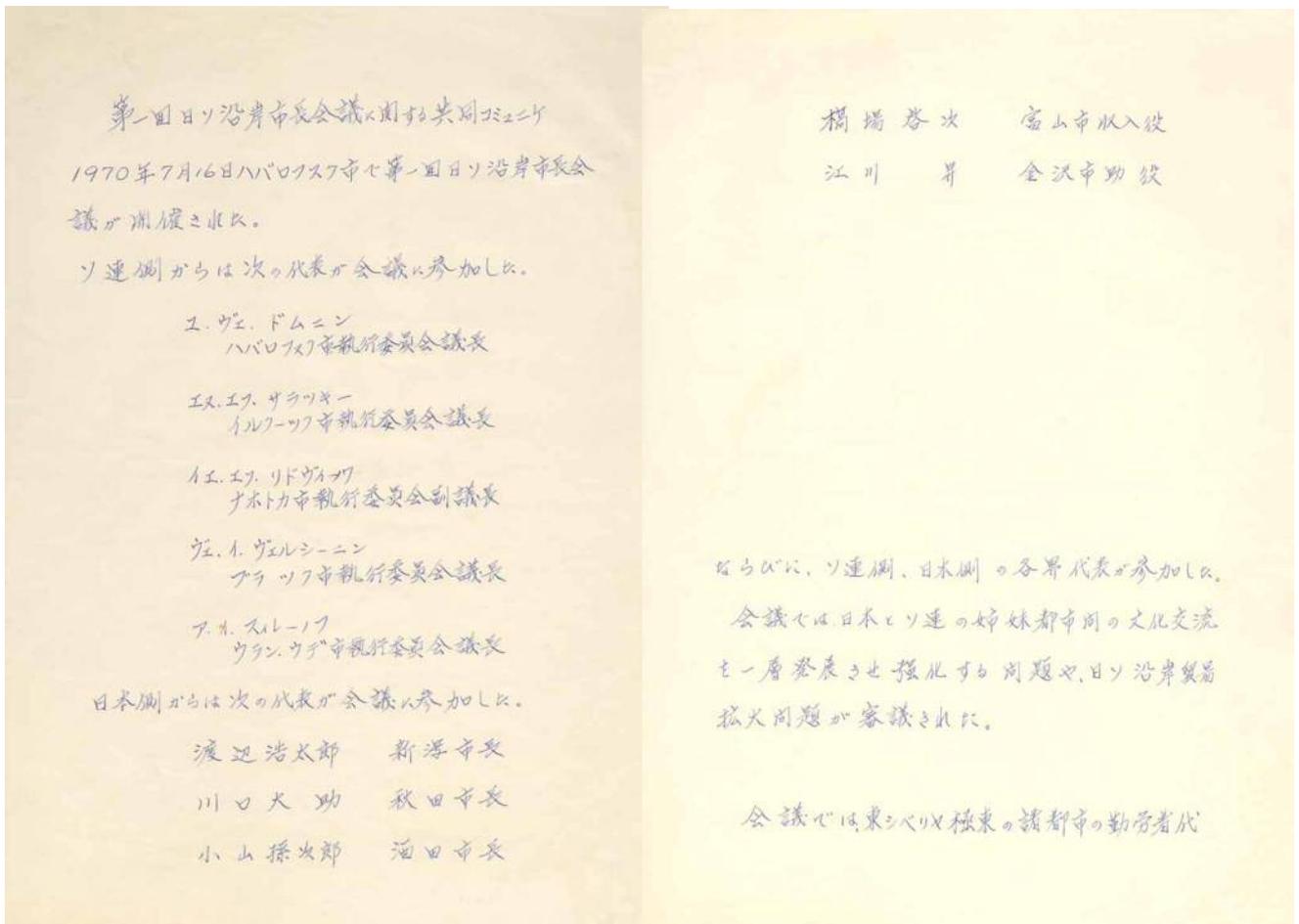
議 題 (1)「日ソ両国間の姉妹都市提携並びに友好・文化交流について」

(2)「日ソ両国間の沿岸貿易について」



第1回日ソ沿岸市長会議の様子

第1回日ソ沿岸市長会議共同コミュニケ



議長市ソヴエト執行委員会議長と日本海沿岸諸都市の市長との、このような会議が日本、ソ連両国民の利益と全世界の平和強化のため、両国の文化協力の一層の発展と友好関係の一層の強化と促すとの双方の確信が表明された。

東シベリヤ極東の諸都市の市執行委員会議長と日本海沿岸諸都市の市長は、都市建設、緑化、都市経営の発展、市民の生活の問題についての相互の情報交換を拡大し、更に相互に代表団交換することによって、姉妹都市の友好関係を一層発展強化するの努力をいっしょくたく一致し用意を表明した。

双方は日本とソ連の姉妹都市間の経済文化

交流をもつと活発になり、日ソ両国民がもつと強固な友情の絆で結ばれるようにという希望を表明した。

この会議が、ソヴエト国民が、ソヴエト国家の生みの親レーニンの誕生百周年を祝つている年に行われたいことは意義深いことである。

1970年7月16日

ハバロフスク市

ソ連側調印者

А. Домини

Э. Доменин

И. Салацкий

Э. Литвинова

В. Бернинни

А. Сиренов

В. Бернинни

А. Сиренов

日本側調印者

山口浩太郎

渡辺浩太郎

川口大助

山口大助

小山孫次郎

橋場裕次

橋場裕次

江川早苗

Проект

СОВЕТСКО - ЯПОНСКОЕ КОМПЕНЕНИЕ

О ПРОВЕДЕНИИ ПЕРВОЙ ВСТРЕЧИ МЕРОВ ГОРОДОВ ЯПОНИИ И ПРЕДСЕДАТЕЛЕЙ ГОРОДСКИХ ИСПОЛНИТЕЛЬНЫХ КОМИТЕТОВ СОВЕТОВ ДЕПУТАТОВ ТРУДЯЩИХСЯ ВОСТОЧНОЙ СИБИРИ И ДАЛЬНЕГО ВОСТОКА

16 июля 1970 года в городе Хабаровске состоялась первая встреча председателей исполкомов городских Советов депутатов трудящихся городов Восточной Сибири и Дальнего Востока и мэров городов западного побережья Японии.

С советской стороны во встрече приняли участие:

- Е. В. ДОМИНИ - председатель Хабаровского горисполкома
- Н. Ф. САЛАТСКИЙ - председатель Иркутского горисполкома
- Э. Ф. ЛИТВИНОВА - заместитель председателя Находкинского горисполкома
- В. И. БЕРНИНИНИ - председатель Братского горисполкома
- А. С. СИРЕНОВ - председатель горисполкома города Улан-Удэ

С японской стороны во встрече участвовали:

- г-н КОТАРО БАТАНАБЭ - мэр города Ингата
- г-н МАГОДЭМО КОИМА - мэр города Саката
- г-н ДАЙСЮКЭ КАВАГУТИ - мэр города Анита
- г-н НАБОРУ ЭГАВА - заместитель мэра города Канадэва
- г-н КЭЙДЭИ ХАСИБА - главный казначей муниципалитета города Тоима

На встрече в качестве гостей присутствовали заместитель председателя Хабаровского крайисполкома П. Е. Шапкин, И. И. Мариникин

а также представители советской и японской обществности.

На встрече были обсуждены вопросы дальнейшего развития и укрепления культурных связей между городами-побратимами СССР и Японии расширения советско-японской прибрежной торговли.

Была выражена обоюдная уверенность, что подобные встречи председателей исполкомов городских Советов депутатов трудящихся Восточной Сибири и Дальнего Востока и мэров городов западного побережья Японии способствуют дальнейшему развитию культурного сотрудничества и укреплению дружественных связей между нашими странами в интересах народов Советского Союза и Японии и укрепления мира во всем мире.

Председатели горисполкомов Дальнего Востока и Восточной Сибири и мэры городов западного побережья Японии выразили единодушную готовность прилагать усилия к дальнейшему развитию и укреплению дружественных связей породненных городов путем расширения взаимной информации по вопросам градостроительства, оселения, развития городского хозяйства, жизни и быта жителей городов, а также взаимного обмена делегациями.

Обе стороны выразили пожелание, чтобы экономический и культурный обмен между породненными городами Советского Союза и Японии стал более оживленным, а советский и японский народы были связаны еще более крепкими узлами дружбы.

Самым важным является то, что эта встреча состоялась в год, когда советский народ отмечает 100-летие со дня рождения основателя Советского государства В. И. ЛЕНИНА.

16 июля 1970 г.
г. Хабаровск

Подписали с советской стороны

Е. ДОМИНИ А. Домини
Н. САЛАТСКИЙ И. Салацкий
Э. ЛИТВИНОВА Э. Литвинова
В. БЕРНИНИНИ В. Бернинни
А. СИРЕНОВ А. Сиренов

Подписали с японской стороны

К. БАТАНАБЭ 山口浩太郎
М. КОИМА 小山孫次郎
Д. КАВАГУТИ 川口大助
Н. ЭГАВА 江川早苗
К. ХАСИБА 橋場裕次

第2回日ソ沿岸市長会議

期 日 1971年10月16日

場 所 日本 新潟市

参加市 日本側…秋田市、男鹿市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、上越市、富山市、高岡市、
新湊市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市

ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラン・ウデ市、ブラーツク市

- 議 題 (1)「友好親善の増進について」
(2)「経済関係の強化について」
(3)「都市問題について」



日ソ沿岸市長会代表幹事 新潟市長 渡辺 浩太郎

第3回日ソ沿岸市長会議

期 日 1972年7月28日～29日

場 所 ソ連邦 イルクーツク市

参加市 日本側…男鹿市、酒田市、新潟市、柏崎市、上越市、富山市、新湊市、金沢市、敦賀市、
舞鶴市

ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ウラン・ウデ市、ナホトカ市、
ブラーツク市、シェレホフ市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市

- 議 題 (1)「文化関係の強化について」
(2)「経済関係の強化について」
(3)「就学前児童施設について」
(4)「専門家シンポジウム開催について」



第3回日ソ沿岸市長会議について報道するソ連の新聞記事「日本の市長らがイルクーツクで」

第4回日ソ沿岸市長会議

期 日 1973年10月1日～2日

場 所 日本 金沢市

参加市 日本側…青森市、秋田市、本荘市、男鹿市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、上越市、
富山市、高岡市、新湊市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市
ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラン・ウデ市、
ブラーツク市、シェレホフ市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市

議 題 (1)「友好・経済関係の強化について」

(2)「老人の福祉について」

※ 都市環境問題専門家シンポジウムを同時開催

共同議長を務める渡辺 代表幹事と
モロゾフ ハバロフスク市執行委員会
議長



金沢のロシア人墓地に慰霊する
ソ連側一行

第5回日ソ沿岸市長会議

期 日 1975年9月16日～17日

場 所 ソ連邦 ブラーツク市

参加市 日本側…男鹿市、新潟市、上越市、富山市、新湊市、金沢市、七尾市
ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラン・ウデ市、ブラーツク市、
シェレホフ市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、ユジノ・サハリンスク市、
ホルムスク市

議 題 (1)「市政への住民参加」

(2)「近代都市建設の基本原則」

(3)「諸都市間の文化・経済関係について」



繊維工場を視察する
日本側代表団

第6回日ソ沿岸市長会議

期 日 1977年9月5日～6日

場 所 日本 富山市

参加市 日本側…秋田市、能代市、本荘市、男鹿市、酒田市、新潟市、柏崎市、上越市、富山市、高岡市、新湊市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市
ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラン・ウデ市、ブラーツク市、シェレホフ市、ユジノ・サハリンスク市

議 題 (1)「日ソ両国民間の協力並びに友好関係の発展における諸都市の役割」
(2)「経済関係の強化」
(3)「都市と市民の健康維持」



会議の様子

日ソ双方の会議参加者による記念撮影

第7回日ソ沿岸市長会議

期 日 1979年10月7日～8日

場 所 ソ連邦 ウラン・ウデ市

参加市 日本側…秋田市、本荘市、男鹿市、酒田市、新潟市、柏崎市、豊栄市、富山市、新湊市、金沢市、七尾市、福井市、舞鶴市
ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラン・ウデ市、ブラーツク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、シェレホフ市、ホルムスク市、ユジノ・サハリンスク市、ネヴェリスク市

議 題 (1)「日ソ両国民のための平和、善隣関係、経済文化
協力を目指す運動への都市の積極的な参加」
(2)「住宅建設と都市住民の公共サービス」
(3)「都市と国際児童年」



民族衣装での出迎え



ウラン・ウデ空港に到着した日ソ双方の代表団

第8回日ソ沿岸市長会議

期 日 1981年5月25日～26日

場 所 日本 酒田市

参加市 日本側…青森市、秋田市、能代市、本荘市、男鹿市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、豊栄市、上越市、富山市、高岡市、新湊市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市

ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ウラン・ウデ市、ユジノ・サハリンスク市、ナホトカ市、ブラーツク市、シェレホフ市、ホルムスク市、ポロナイスク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、ネヴェリスク市

- 議 題 (1)「日ソ両国都市間の友好・文化・経済関係の拡大・強化」
(2)「都市は障害者の社会生活への参加をいかに保障しているか」
(3)「都市と学校教育の組織」



共同コミュニケに調印して握手を交わす
川上 代表幹事とモロゾフ団長

第8回会議に抗議活動を行う右翼団体と
交通機動隊との対立風景



第9回日ソ沿岸市長会議

期 日 1983年7月9日～10日

場 所 ソ連邦 ハバロフスク市

参加市 日本側…稚内市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、豊栄市、富山市、高岡市、金沢市、敦賀市、舞鶴市

ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラン・ウデ市、ブラーツク市、ユジノ・サハリンスク市、シェレホフ市、ホルムスク市、ポロナイスク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、ネヴェリスク市

- 議 題 (1)「平和、緊張緩和のための日ソ善隣協力関係発展における都市の役割」
(2)「現代都市における給水と水資源の保護」
(3)「都市は障害者の社会生活への参加をいかに保護しているか」

会議参加者・関係者による
記念写真



第10回日ソ沿岸市長会議

期 日 1985年8月25日～26日

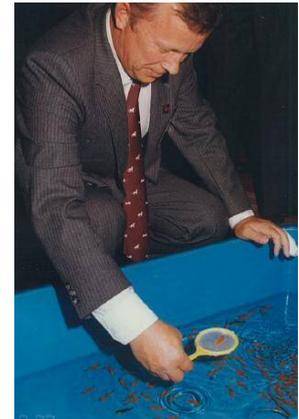
場 所 日本 新潟市

参加市 日本側…釧路市、稚内市、青森市、秋田市、本荘市、男鹿市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、豊栄市、上越市、富山市、高岡市、新湊市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市

ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラン・ウデ市、ブラーツク市、ユジノ・サハリンスク市、シェレホフ市、ホルムスク市、ポロナイスク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、ネヴェリスク市

- 議 題 (1)「日ソ両国都市間の友好・文化・経済関係の発展」
(2)「バム鉄道と日ソ経済関係」
(3)「都市と青年」

会議の様子



共催レセプションで金魚すくいを楽しむ、ソ側団員。

第11回日ソ沿岸市長会議

期 日 1987年8月20日～21日

場 所 ソ連邦 イルクーツク市

参加市 日本側…秋田市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、豊栄市、上越市、富山市、高岡市、金沢市、七尾市、敦賀市、舞鶴市

ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ユジノ・サハリンスク市、ウラン・ウデ市、ブラーツク市、シェレホフ市、ホルムスク市、ポロナイスク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、ネヴェリスク市、

- 議 題 (1)「日本海地域の安全と信頼強化のための相互理解・善隣、協力関係発展に果たす日ソ姉妹・親善都市の役割について」
(2)「日ソ地域経済協力への都市の参加について」
(3)「日ソ両国都市間の観光とスポーツ交流の発展について」



イルクーツク空港でロシアの伝統的な「パンと塩」の歓迎を受ける日本側代表団



ソ連側による出迎え風景

第12回日ソ沿岸市長会議

期 日 1989年11月12日～13日

場 所 日本 山形市

参加市 日本側…釧路市、青森市、秋田市、本荘市、男鹿市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、豊栄市、上越市、高岡市、新湊市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市
ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラジオストク市、ウラン・ウデ市、ユジノ・サハリンスク市、ホルムスク市、ネヴェリンスク市、シェレホフ市、ポロナイスク市、ブラーツク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、ノヴォシビルスク市

議 題 (1)「日ソ両国都市間の友好・文化・経済関係の発展について」
(2)「都市と自然環境の問題における都市間協力について」
(3)「都市間の青少年交流について」

コミュニケを交換する若杉代表幹事と
パンチェンコ団長



山形市長招待夕食会で花笠踊りの輪に加わる
日ソ双方の会議参加者

第13回日ソ沿岸市長会議

期 日 1991年8月23日～24日

場 所 ソ連邦 ウラジオストク市

参加市 日本側…秋田市、能代市、男鹿市、山形市、酒田市、村山市、新潟市、柏崎市、豊栄市、上越市、富山市、高岡市、新湊市、氷見市、金沢市、七尾市、舞鶴市
ソ連側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ウラジオストク市、ウラン・ウデ市、ホルムスク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市

オブザーバー参加 日本側…函館市、鯨ヶ沢町

ソ連側…ビロビジャン市、ヤクーツク市

議 題 (1)「日ソ両国都市間の友好・文化関係拡大」
(2)「日ソ地域経済協力における都市の役割」



ウラジオストク駅頭で同市長夫妻の出迎えを受ける長谷川代表幹事ら日本側代表団。

ゴルバチョフ大統領の失脚を狙ったクーデター事件の直後だったが、会議は無事に行われた。

第14回日ロ沿岸市長会議

期 日 1993年7月21日～22日

場 所 日本 秋田市

参加市 日本側……函館市、釧路市、留萌市、稚内市、青森市、秋田市、能代市、本荘市、男鹿市、山形市、酒田市、村山市、新潟市、柏崎市、豊栄市、上越市、富山市、高岡市、新湊市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市、境港市

ロシア側…ハバロフスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラン・ウデ市、ブラーツク市、シェレホフ市、ユジノ・サハリンスク市、ビロビジャン市、ドリンスク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、ブラゴベシチェンスク市、ヤクーツク市、コムソモリスク・ナ・アムーレ市、ホルムスク市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市

- 議 題 (1)「日ロ両国都市間の友好・文化・青少年交流のさらなる発展について」
(2)「日ロ両地域間の経済関係発展について」



会議の様子

土崎港まつりに参加するロシア側代表团



第15回日ロ沿岸市長会議

期 日 1995年8月16日～17日

場 所 ロシア連邦 ユジノ・サハリンスク市

参加市 日本側……函館市、留萌市、稚内市、秋田市、能代市、本荘市、男鹿市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、上越市、富山市、高岡市、新湊市、氷見市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、境港市

ロシア側…ハバロフスク市、ユジノ・サハリンスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ウラン・ウデ市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、ブラーツク市、ホルムスク市、ドリンスク市、シェレホフ市、ネヴェリスク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市

- 議 題 (1)「日ロ両国都市間の友好・文化・青少年交流のさらなる発展について」
(2)「経済問題解決のための日ロ両国都市間の協力について」
(3)「日ロ両国都市間の観光・スポーツ交流発展について」



日ロ双方の参加者
による記念撮影

第16回日ロ沿岸市長会議

期 日 1997年8月27日～28日

場 所 日本 函館市

参加市 日本側……函館市、釧路市、留萌市、稚内市、青森市、秋田市、能代市、本荘市、男鹿市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、両津市、豊栄市、上越市、富山市、高岡市、新湊市、氷見市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市、境港市

ロシア側…ハバロフスク市、ユジノ・サハリンスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、ウラン・ウデ市、ビロビジャン市、ネヴェリンスク市、ホルムスク市、シェレホフ市、ブラゴヴェシチェンスク市

- 議 題 (1)「両国都市間における友好、スポーツ、文化、青少年交流のさらなる発展について」
(2)「両地域間の経済、文化、観光分野における、相互協力の拡大について」
(3)「両地域間の環境保護協力について」



コミュニケに調印する長谷川代表幹事と
フィリポフ団長

第17回日ロ沿岸市長会議

期 日 1999年8月24日～25日

場 所 ロシア連邦 ナホトカ市

参加市 日本側……函館市、秋田市、能代市、本荘市、男鹿市、山形市、村山市、新潟市、豊栄市、上越市、富山市、金沢市、福井市、敦賀市、舞鶴市

ロシア側…ハバロフスク市、ナホトカ市、ユジノ・サハリンスク市、ウラジオストク市、ウラン・ウデ市、ホルムスク市、イルクーツク市、ブラゴヴェシチェンスク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市

- 議 題 (1)「友好、スポーツ、文化、青少年交流のさらなる発展について」
(2)「両地域間の経済協力の拡大について」
(3)「環境保護分野における相互協力の拡大について」



第17回会議に合わせて開催した
「渡り鳥円卓会議」参加者

第18回日ロ沿岸市長会議

期 日 2001年8月30日～31日

場 所 日本 新潟市

参加市 日本側……函館市、留萌市、秋田市、能代市、本荘市、山形市、酒田市、新潟市、柏崎市、両津市、豊栄市、上越市、富山市、高岡市、新湊市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市、境港市

ロシア側…ハバロフスク市、ビロビジャン市、ブラゴヴェシチェンスク市、イルクーツク市、コムソモリスク・ナ・アムール市、ユジノ・サハリンスク市、ナホトカ市、ネヴェリスク市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、ウラン・ウデ市、ホルムスク市、シェレホフ市

- 議 題 (1)「両地域間の友好、スポーツ、文化、青少年交流のさらなる発展について」
(2)「両地域間の経済、観光分野における相互協力の拡大について」
(3)「都市の環境保全への取り組みについて」



共同コミュニケ調印後に握手をする
長谷川代表幹事とソコロフ団長



第18回会議に合わせて「渡り鳥シンポジウム」を開催

第19回日ロ沿岸市長会議

期 日 2003年8月20日～21日

場 所 ロシア連邦 ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市

参加市 日本側……留萌市、秋田市、本荘市、酒田市、新潟市、柏崎市、豊栄市、富山市、新湊市、金沢市、福井市、敦賀市、舞鶴市

ロシア側…ハバロフスク市、ビロビジャン市、ブラゴヴェシチェンスク市、ウラジオストク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、ウラン・ウデ市、ユジノ・サハリンスク市、ヤクーツク市

- 議 題 (1)「両地域間の友好・スポーツ・文化・青少年交流のさらなる発展について」
(2)「両地域間の経済、観光分野における相互協力について」
(3)「環境保護分野における都市の取り組みについて」



会議参加者による記念撮影



カムチャツカの雄大な自然 間欠泉の谷

第20回日ロ沿岸市長会議

期 日 2005年8月25日～26日

場 所 日本 金沢市

参加市 日本側……函館市、釧路市、留萌市、秋田市、由利本荘市、男鹿市、酒田市、新潟市、柏崎市、上越市、富山市、高岡市、新湊市、金沢市、七尾市、福井市、敦賀市、舞鶴市
ロシア側…ハバロフスク市、ビロビジャン市、ブラゴヴェシチェンスク市、ワニノ市、イルクーツク市、ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、ナホトカ市、ネヴェリスク市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、ウラン・ウデ市、ホルムスク市、ユジノ・サハリンスク市

- 議 題 (1)「経済・観光分野における協力の促進について」
(2)「自然災害防止と復興における協力について」
(3)「友好・スポーツ・文化・青少年交流のさらなる発展について」



兼六園での記念撮影



第20回会議に合わせてロシア極東シベリア諸都市の民族舞踊アンサンブルを招聘し、金沢市内での公演を実施

第21回日ロ沿岸市長会議

期 日 2007年8月20日～21日

場 所 ロシア連邦 ブラゴヴェシチェンスク市

参加市 日本側…函館市、秋田市、由利本荘市、新潟市、富山市、高岡市、射水市、金沢市、敦賀市
ロシア側…ハバロフスク市、ビロビジャン市、ブラゴヴェシチェンスク市、ワニノ市、ナホトカ市、イルクーツク市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、ホルムスク市、ユジノ・サハリンスク市

- 議 題 (1)「経済・観光分野での交流促進について」
(2)「環境と調和したまちづくりについて」



会議参加者・関係者による記念写真



アムール川を隔ててブラゴヴェシチェンスクと向かい合う中国黒龍江省黒河 民族村にて

第22回日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム

期 日 2009年8月19日～20日

場 所 日本 函館市

参加市 日本側……函館市、秋田市、男鹿市、由利本荘市、酒田市、新潟市、長岡市、三条市、燕市、上越市、佐渡市、富山市、高岡市、射水市、金沢市、七尾市、敦賀市、舞鶴市
ロシア側…ハバロフスク市、ウラジオストク市、ブラゴヴェシチェンスク市、イルクーツク市、ナホトカ市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、ヤクーツク市、ウラン・ウデ市、ホルムスク市、ユジノ・サハリンスク市

議 題 (1)「日ロ両地域諸都市間の日ロ国際経済発展モデル」
(2)「日ロ両地域諸都市間の観光発展の現状、可能性と展望」



日ロ沿岸ビジネスフォーラムの初開催

本会と経済界との連携を強めて日ロ間のより実務的な分野での協力関係を発展させることをめざし、第22回会議1日目に「経済」の議題を審議するのに併せ、「ロシアNIS貿易会 (ROTOBO)」及び「環日本海経済研究所 (ERINA)」との共催で「日ロ沿岸ビジネスフォーラム」を開催。

会議2日目「観光」の議題審議にあたっては、観光関係者を交えた意見交換会を実施した。

日ロ双方合わせて約90人の経済・観光関係者が参加し、活発な議論が行われた。

「日ロ沿岸ビジネスフォーラム」参加者アンケートより

- 日ロ間では“首都圏・中央政府・大企業”中心の会議やフォーラムはいくつも実施されてきたが、各自治体レベルでの個別の取り組みを除き、“地域・自治体・中小ビジネス”を主対象とする横断的な試みはきわめて少なかった。その意味で、今回の日ロ沿岸市長会議とビジネスフォーラムの併催は、大きな意味があったと思うし、将来的にもまだまだ化ける可能性があると感じた。できることがあれば、今後も協力していきたいと思います。
- フォーラムを通じて、日本とロシアの現状が理解出来て、大変参考になった。現況を深く理解する事から、物事は前に進むと思う。弊社もロシア貿易（輸出）を昨年からはじめて、今後も取引の継続・拡大をしていく上で、日本海沿岸・サハリン・極東地域の各市長の発言を聴けたことは非常に参考になり、良い経験が出来たと感じる。

共同コミュニケの主な内容（抜粋）

1. 日ロ双方の代表者は、両地域間の経済交流のさらなる発展のため、「日露貿易投資促進機構」の機能拡充と活性化を再度両国政府に要請することで合意。
2. 日ロ双方の代表者は、経済・観光分野の協力促進のため、柔軟な査証制度の採用と、競争による運賃値下げを促す新たな航空会社参入の必要性を認めた。
3. 日本側は、ビジット・ジャパン・キャンペーンの重点的な対象国・地域にロシアを含めるよう、日本政府に対して要請することとした。

第23回日ロ沿岸市長会議

期 日 2011年8月22日～23日

場 所 ロシア連邦 ヤクーツク市

参加市 日本側……函館市、秋田市、由利本荘市、新潟市、燕市、上越市、富山市、高岡市、敦賀市、舞鶴市
ロシア側…ピロビジャン市、ブラゴヴェシチェンスク市、ワニノ市、ウラジオストク市、
ナホトカ市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、ウラン・ウデ市、
ハバロフスク市、ユジノ・サハリンスク市、ヤクーツク市

議 題 (1)「両地域諸都市の観光交流発展に向けた施策」
(2)「両地域諸都市における重点経済分野のポテンシャルと協力拡大」



ヤクーツク空港での出迎え



会議参加者による記念撮影



郊外で行われたヤクートの祝詞儀式「アルグイス」。シャーマンが火を起し、祈禱を唱えながら馬の尾の毛を束ねたものでお祓いをする。



永久凍土博物館。内部は通年-15℃。さまざまな部屋があり、中にはヤクーチャ版サンタクロースの宮殿も。

共同コミュニケの主な内容（抜粋）

1. 東日本大震災と原発事故を受けて日ロ間でも貿易、観光分野での停滞が見られる状況を共に克服するため、実態に即した情報交換を進めて行くこととした。
2. 日ロ間のエネルギー分野での協力を歓迎すること、そしてこれらが両国間の協力関係に肯定的な影響を及ぼすことを確認。
3. 日本の日本海側とロシア極東を結ぶ航路、航空路の整備が両地域間交流の発展に不可欠であるとの認識で一致。特に、震災前から休止が相次いでいる航空路線については、安定運航と利用しやすい運賃の設定を求めて、新たな航空会社参入を視野に入れた関係機関への働き掛けを続けていくこととした。
4. 両地域間の経済交流のさらなる発展のため、日ロ双方の関係法律に精通した専門家を配置した日ロ両国の貿易投資促進機構のロシア極東代表部を早期に設立するよう両国政府に働きかけることで合意。
5. 両地域間の観光発展のため日ロ両言語での双方向の情報提供を促進すること、柔軟な査証制度の採用の必要性を認めた。

第24回日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム

期 日 2013年8月21日～22日

場 所 日本 舞鶴市

参加市 日本側……函館市、秋田市、男鹿市、由利本荘市、酒田市、新潟市、長岡市、三条市、燕市、上越市、佐渡市、富山市、高岡市、射水市、金沢市、七尾市、敦賀市、舞鶴市
ロシア側…ワニノ市、ヤクーツク市、ビロビジャン市、ウラジオストク市、コムソモリスク・ナ・アムーレ市、マガダン市、ナホトカ市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、ハバロフスク市、ユジノ・サハリンスク市

議 題 (1)「両地域諸都市の経済協力における相互協力の強化について」

(2)「両地域諸都市の特性を活かした国際観光の促進について」



第24回日ロ沿岸市長会議・
日ロ沿岸ビジネスフォーラム全景



関西電力舞鶴火力発電所を視察する
ロシア側代表団

共同コミュニケの主な内容（抜粋）

1. ロシアにおける極東・バイカル地域の発展戦略への期待が表明されるとともに、日本の太平洋側に集中するさまざまな機能を日本海側に分散させることは日本の国土強靱化に資するものであり、ひいては両地域の発展に寄与するとの認識で一致した。
2. エネルギーは日ロ経済協力の主要な分野の一つであることについて見解を共有し、東日本大震災後に日本ではエネルギー需要が増大し、一方ロシアはエネルギー供給先の確保をめざしているという状況を踏まえ、互恵的な条件でのロシアから日本へのエネルギー供給に関心を示した。
3. 両者は、両地域間で農業分野・食文化での協力が大きな可能性を有していることを認め、さらなる交流の促進に努めることで合意した。
4. 日ロ両国間の貿易高が2012年に過去最高を記録し、日本からロシアへの投資や企業進出が活発化していることを指摘した。さらなる経済関係深化に向けて、シベリア鉄道の競争力強化や効率性向上を前提とした日本海物流の一層の活性化に期待を表明した。
5. 2012年1月に両国外相が署名した「日ロ査証簡素化協定」が未だに発効していないことを憂慮し、その早期発効を両国政府に要望することとした。

第24回会議開催地担当者 舞鶴市みなと振興・国際交流課主査（当時） 倉橋 亮

第24回会議は初となる舞鶴市開催であり、地元としても久しぶりの大規模な国際会議ということで担当者一同にはプレッシャーもありましたが、事務局のご支援をいただきながら、猛暑にもめげず、無事開催できました（涼しいロシアから来た皆さんに日本の夏はどう映ったのでしょうか…）。

その年は京都舞鶴港がちょうど築港100年を迎え、日本海側拠点港としての機能強化に取り組んでいる最中であり、多くのロシア側参加者に舞鶴市を見ていただけたことはまたとない好機でした。と同時に、両国交流の「場」づくりに多くの関係者が国と海と言語を越えて情熱を注ぐ姿に間近でふれることができたのは、大変貴重な経験となりました。

折々の情勢によって、交流にも紆余曲折があります。しかし、対話の「場」が継承されていれば、交流は途切れず、時に大きな花を咲かせてくれます。特に、国同士とはまた異なる地方同士の交流のしなやかな強みが、日ロ沿岸市長会にはあります。これからも日ロ沿岸市長会が日ロ両国の重要な「対話の場」として発展されることを祈念いたします。

第25回日ロ沿岸市長会議

期 日 2015年8月24日～25日

場 所 ロシア連邦 ウラジオストク市

参加市 日本側……秋田市、由利本荘市、新潟市、燕市、上越市、富山市、高岡市、金沢市、舞鶴市
ロシア側…ピロビジャン市、ブラゴヴェシチェンスク市、ブラーツク市、ウラジオストク市、
ドリンスク市、ナホトカ市、ネヴェリンスク市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、
ポロナイスク市、ハバロフスク市、ホルムスク市、ユジノ・サハリンスク市、
ヤクーツク市、コムソモリスク・ナ・アムーレ市

経済・観光関係者 ロシア側より 沿海地方を中心に12名。

日本側より 日本の企業や報道機関の現地支店・駐在員事務所などから11名。

議 題 (1)「困難な経済状況における両地域諸都市間の発展への方策」

(2)「日ロ両地域の都市間での観光交流活性化における協力関係の発展」



第25回日ロ沿岸市長会議全景



ウラジオストク郊外の保養施設で、ジプシーの歌と踊りを披露するアンサンブルと

共同コミュニケの主な内容（抜粋）

1. 両地域の都市間での経済・観光・文化などの分野における交流・協力をさらに深めることが、両地域の社会的・経済的発展を促進する方策の一つとなる。
2. 両国で特区や自由港などの取り組みが進んでおり、規制緩和等を利用し互惠関係を発展させる。
3. 経済交流において、エネルギー分野に限らず、あらゆる分野におけるさらなる貿易促進のため地域レベルでの取り組みを強化する必要がある。
4. 農業については、日ロ地方レベルでの協力の実践も行われており、さらなる協力の拡大に努める。
5. 観光分野では、広域的な観光連携ルートの開発や、本会議のネットワークを活用した情報発信などを実践するとともに、今後も両国政府に対し渡航手続きの簡素化・迅速化を働き掛ける。
6. 両地域の航路・航空路のさらなる拡充が不可欠であり、利用促進と関係機関への働きかけを強める必要がある。特に、日本では国内移動の利便性が向上、それを活用し両地域間の交流人口の増加の可能性を検討する。
7. 両国の未解決の問題が解決され、平和条約が早期に締結されることへの期待を表明。

第25回会議開催地担当者 ウラジオストク市行政国際関係局主任専門員（当時） I.V. パセチニク

5年前、2015年8月24日から26日まで、ウラジオストク市は大規模な国際事業である第25回日ロ沿岸市長会議の開催地となりました。

ウラジオストク市は、ロシアと日本の14市の参加者を受け入れました。行事のプログラムが充実し興味深いものになり、参加者の滞在が最大限快適になるよう、当市は精一杯努めました。第25回会議開催中、とても激しい台風に見舞われたことをよく覚えています。屋外での視察と行事は、屋内に変更されました。事前に準備していたプログラムは、雨風により修正を加えられたのです。しかし、事業の出来ばえには全く影響しなかったものと確信しています。

第25回会議の準備と開催は、ウラジオストク市行政国際関係局の職員にとって、挑戦と教訓にもなりました。私たちは変化する状況の中で貴重な経験を積み、皆様に満足いただける会議を開催することができました。これは、この記念すべき会議に参加したロシアと日本の諸都市の市長からの、当市宛てのたくさんの礼状によって裏付けられています。

第26回日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム

期 日 2017年8月23日～24日

場 所 日本 新潟市

参加市 日本側……秋田市、男鹿市、由利本荘市、酒田市、新潟市、長岡市、三条市、燕市、上越市、佐渡市、富山市、高岡市、射水市、金沢市、七尾市、敦賀市、舞鶴市
ロシア側…ビロビジャン市、ブラーツク市、ウラジオストク市、イルクーツク市、コムソモリスク・ナ・アムーレ市、マガダン市、ナホトカ市、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市、ハバロフスク市、ヤクーツク市

議 題 (1)「日本海沿岸地域とロシア極東シベリア地域とのビジネスチャンス拡大について」
(2)「両地域諸都市における双方向（インバウンド・アウトバウンド）の観光交流促進に向けた方策」



共同コミュニケ調印後、集合写真を撮影する
日ロ双方の会議参加者



生ごみバイオガス発電センターを視察する
ロシア側代表団

共同コミュニケの主な内容（抜粋）

1. 8項目の協力プランの具体化に強い期待を表明し、地域間交流がこの協力プランの実現の重要な推進力であるという認識で一致。情報共有をはかりながら、農業、医療、中小企業、文化などの各分野における互いの強みを生かし、両地域の相互補完関係の発展に努める。
2. エネルギー協力は、日本とロシアにおける互恵的な主要プロジェクトの一つであり、エネルギーに関する両国間の投資・貿易量のさらなる拡大が、とりわけ当会議出席都市の港湾機能の強化と拠点性の向上、両地域の経済の活性化において重要な意味を持つ。
3. 地域間の交流推進と強固な協力関係の構築には、航路及び航空路の安定運航が不可欠。貿易の拡大に向けては、各都市に集積する製造業、農業、サービス業などを活かしたビジネス・マッチングを進める必要がある。
4. 旅客の拡大には、インバウンド及びアウトバウンドの振興策が重要。本年1月1日から制度変更となった査証要件の緩和について、さらなる手続きの簡略化を、双方の政府に働きかける。双方の観光交流の振興にむけては、各都市の魅力の情報発信に努め、クルーズ船誘致や、フェリー航路の開設などに向けて、船社や航空会社、旅行社などの関係機関への働きかけを互いに強化する。

第26回会議開催地担当者 新潟市国際課主査（当時）田村 愛火

2016年5月に当時の安倍総理がプーチン大統領に提示した8項目の協力プランが進展し、日ロ関係に大きな追い風が吹く中で、新潟市で16年ぶり4回目となる日ロ沿岸市長会議が開催された。1970年にハバロフスク市で開催された第1回会議から半世紀近くを経て、日ロ両国、両地域の関係はより実務的なパートナーとしての関係に変化し、会議も具体的な議論を深める場としての役割を求められるようになった。開催市として、事務局として、協力プランを強く意識しながら1年以上をかけて準備した第26回会議が、日ロ双方の会議参加者にとって有益なものであったと感じていただけたのであれば、関係者一同何よりである。とはいえ、時代がいくら変化しようとも、交流の歴史の積み重ねなくして、強固なパートナーシップは生まれないのではないかと—そんなことを、会議後にロシア側代表団と訪れた新潟の浜辺で、日本海の夕日を眺めながら考えた記憶が、今懐かしく思い出される。

第27回日ロ沿岸市長会議

期 日 2019年8月22日～23日

場 所 ロシア連邦 ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市

参加市 日本側……新潟市、舞鶴市、金沢市、富山市

ロシア側…ハバロフスク市、ブラゴヴェシチェンスク市、ナホトカ市、
ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市

議 題 (1)「日本海沿岸地域とロシア極東シベリア地域諸都市間の経済協力の促進」
(2)「両地域諸都市におけるインバウンド・アウトバウンドの取組みと相互協力」



第27回日ロ沿岸市長会議全景



共同コミュニケに調印した
中原代表幹事（中央）と
ハバロフスク市のクラフチュク
市長（左隣）



開催地ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市長招宴にて、日本側参加者の産品を紹介

共同コミュニケの主な内容（抜粋）

1. エネルギー協力の重要性（港湾機能の強化と拠点性の向上）
2. 日ロ間の貨物輸送拡大に期待
3. 経済実務団交換について検討

第27回会議開催地担当者 ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市副市長・総務局長（現市長）
ブルィズギン K. V.

2019年、当市ペトロパヴロフスク・カムチャツキーは、ロ日極東シベリア友好協会と日ロ沿岸市長会の第27回会議の開催地となりました。

会議には新潟市と舞鶴市の市長、富山市と金沢市の代表者、ハバロフスク市、ブラゴヴェシチェンスク市、ナホトカ市、その他多くの市の市長が参加しました。

このような大規模な国際会議が行われたのは初めてのことでした。したがって、お客様を相応なレベルでもてなすため、最大限力を尽くす必要がありました。快適な滞在を提供すること、効率的な業務のための条件を整え、充実した興味深い会議のプログラムを準備することです。

新しいビジネスアイデアと同じく、投資がひとりでもたらされることがないというのは理解しています。すべては新しい場所、新しい人々との出会い、情報を得ることから始まります。そのため、第27回会議のプログラムには、会議やセミナーだけではなく、いくつかの企業とペトロパヴロフスク・カムチャツキーの観光地視察も含みました。会議での議論と企業視察により、会議参加者たちは私たちの地域の特質を深く理解し、お互いをより良く知ることができました。このことは、新潟市の中原八一市長が特に述べられました。会議を通じて、市長同士のさらなる相互協力の礎となる温かく、好意的な関係を築くことができたと中原市長は強調しました。私たちの業務をそのように評価してくださり、大変うれしいことでした。

今日、外国のパートナーとの経済的・文化的関係を確立し発展させることは、本市とカムチャツカ地方全体の経済発展にとっての優先事項です。したがって、私たちは日ロ沿岸市長会のさらなる活動に期待しています。

1. ロシアによる放射性廃棄物の海洋投棄に関して政府関係機関へ要望書提出 1993年

1993年の第14回会議で双方は『日本海への有害廃棄物、特に放射性廃棄物の投棄の問題を早急に解決するよう呼び掛ける決意を表明』した。同年10月17日にロシア海軍による日本海への放射性廃棄物投棄がなされたのを受け、10月20日付で国内関係8省庁に要望書を提出。ロシア側組織に対しても同様の要望書をロシア政府に対して提出するよう、働き掛けた。

2. 日本海地域における環境保全についての要望書 1997年

1997年1月、ロシアのタンカーの重油流出事故が日本海で発生し、沿岸地域に重大な被害をもたらした。同年函館市で開催された第16回会議で双方は

- 1) 日本海の環境保全に向けた早期の国際協力体制構築
 - 2) 事故防止、事故発生時の被害を最小限に抑えるための仕組みの形成を自国政府に働きかけること
- ことで合意。

これを受け、同年11月に両国関係機関に要望書を提出。

3. 日本国とロシア連邦との貿易経済分野における協力に関する要望書を提出 2003年

2003年の第19回会議で、『两会連名』で

- 1) 『アンガルスクからナホトカに至る石油のパイプライン・プロジェクト』と『サハリンエネルギー開発』の早期実現
- 2) 『日露貿易投資促進機構』の『ロシア連邦極東における代表部を設立するよう』

共に両国政府に要請することで合意した。

これを受け、同年10月に関係機関に要望書を两会連名で提出。

4. 「極東・東シベリア地域における日露間協力強化に関するイニシアティブ」の実現に加わる用意があることの表明 2007年

2007年の第21回会議で、同年6月のハイリゲンダムサミットにおける日露首脳会談で日本側から提案された上記イニシアティブ実現に加わる用意があることを、日ロ両国政府に表明することを決定した。

これを受け、同年内に「極東・東シベリア地域における日露間協力強化に関するイニシアティブ」にかかる要望書を日本国内関係機関に提出。

5. 日本とロシア極東との協力関係発展にかかる要望書 2009年

2009年の第22回会議での討議を踏まえ、日ロ両国間の経済、観光分野の発展に向けた最も重要な課題として

- 1) 運輸・物流
- 2) 柔軟な査証制度の採用と両地域間の航空路運航会社の新規参入について
- 3) ロシア極東における『日露貿易投資促進機構』の機能強化について
- 4) ビジット・ジャパン・キャンペーン重点市場へのロシアの追加について

の4点を盛り込んだ要望書を作成し、同年11月に関係機関に提出。

6. 日本とロシア極東との協力関係発展にかかる要望書

2011年

2011年の第23回会議での討議を踏まえ、

- 1) 柔軟な査証制度の採用について
- 2) ロシア極東における「日露貿易投資促進機構」の機能強化について

の2点を盛り込んだ要望書を作成し、同年12月に関係機関に提出。

7. 日本とロシア極東との協力関係発展にかかる要望書

2013年

2013年の第24回会議での討議を踏まえ、「国土強靱化における日本海側の位置付けの強化」についての要望書を作成し、同年11月に関係機関に提出。

8. 日本とロシア極東との協力関係発展にかかる要望書

2015年

2015年の第25回会議での討議を踏まえ、「日ロ地域レベルにおける経済・観光交流の促進」についての要望書を作成し、同年11月に関係機関に提出。

9. 日本とロシア極東との協力関係発展にかかる要望書

2017年

2017年の第26回会議では、2016年5月に安倍首相が提示した8項目の協力プランの実現に向け、日ロ地域間交流が重要な推進力となるという認識を双方で確認した。両国間の協力関係発展にかかる課題の中で、特に本会が寄与できる分野にかかり、以下の事項で要望書を作成し、2018年1月に関係機関に提出。

- 1) 日ロ間の渡航手続きのさらなる簡素化
- 2) 双方向の観光交流の振興
- 3) 中小企業のロシア向けビジネスへの支援

10. 日本とロシアとの協力関係発展にかかる要望書

2019年

2019年の第27回会議での討議を踏まえ、

- 1) 日ロ間の渡航手続きのさらなる簡素化
- 2) 「日露地域・姉妹都市交流年」認定事業への財政支援
- 3) 双方向の観光振興へ向けた取り組みへの支援
- 4) 日本海側諸港の港湾機能の強化・拠点性向上への支援
- 5) 中小企業のロシア向けビジネスへの支援

の5点を盛り込んだ要望書を作成し、同年11月に関係機関に提出。



外務省を訪問し、中谷政務官（中央）に要望書を提出する中原代表幹事（左）と舞鶴市の多々見市長（右）



国土交通省を訪問し、浅輪技術総括審議官（右）に要望書を提出する中原代表幹事

6 その他の活動実績にかかる補足資料

1) 各種調査・研究

① 「都市問題専門家シンポジウム」の開催

1973年、金沢市での第4回日ソ沿岸市長会議に合わせて開催。

② 都市緑化視察団を派遣

1974年、本会の7市から14人が参加して訪ソ。ナホトカ、イルクーツク、ブラーツクの都市緑化事情を視察。帰国後は報告書を作成し、会員市に配布。

③ 渡り鳥円卓会議・渡り鳥シンポジウムの開催

国際的な渡り鳥の生息環境保護のために、日ロ渡り鳥ルートにあるそれぞれの都市の湿地を適正に保全するための情報交換の場として、第17回会議（1999年 ナホトカ市）、第18回会議（2001年 新潟市）に併設。学者、NPO、行政関係者らによる会議、児童絵画の展示、渡り鳥にまつわる日本とロシアの言い伝え、諺等を集めた資料の出版、周辺の湿地の視察などを行った。

2) 青少年交流・文化交流

ロシアに姉妹都市を持たない市は単独での青少年交流の実施が困難であるとの意見を踏まえ、招聘にかかる事務手続きやロシア側との連絡調整等を事務局で行い、費用は参加市が負担して実施したもの。

① 1995年7月 留萌市、能代市、柏崎市、境港市から21人がユジノ・サハリンスクを訪問。

11月 ユジノ・サハリンスク市から21人が上記4市に分かれて来訪。

② 1997年7月 能代市、柏崎市、事務局通訳の計15人がウラジオストクを訪問。

8月 ウラジオストク市から15人が能代市、柏崎市に分かれて来訪。

③ 2001年7月 本荘市、男鹿市、新潟市共同でウラジオストクの青少年競技ダンスチーム一行10人を受け入れ。

④ 2005年8月 第20回会議に合わせてロシア極東シベリア諸都市の民族舞踊アンサンブルを招聘し、金沢市内での公演を実施（19頁右上の写真参照）。

■ 平成9（1997）年の青少年交流参加者 柴野憩さん 柏崎市第二中学校（当時）

ロシアで日本車をたくさん見ました。これは両国の物質面の交流の深さを物語っています。

しかし、心の面ではどうでしょう。ロシアの子どもたちは特に私を外国人扱いしませんでした。私は日本での私たちを思い、恥ずかしくなりました。日本での、日本人を見るときとは違う、外国人に向けての視線を思い出したのです。私たちがこれからしていくべきことは、外国人との心の壁を取り除くことだと感じました。そのため私は努力を惜しまぬつもりです。



3) 実務担当者派遣

日ロ沿岸市長会議への参加やロシア関係各種事業を円滑に進めるため、各市の実務担当者をロシアに派遣して実情に理解を深めた。

派遣時期	行き先	参加市と人数
1996年7月	ウラジオストク、ハバロフスク	能代市、敦賀市、境港市、事務局 5人
1998年9月	ハバロフスク ナホトカ ウラジオストク	柏崎市、事務局 3人 ※ ナホトカでは1999年の第17回会議の準備を兼ねる。
2000年8月	ユジノ・サハリンスク、コルサコフ、ホルムスク	稚内市、豊栄市、敦賀市、事務局 5人
2002年8月	ペトロパヴロフスク・カムチャツキー ハバロフスク	柏崎市、豊栄市、敦賀市、事務局 5人 ※ ペトロパヴロフスク・カムチャツキーでは2003年の第19回会議の準備を兼ねる。
2016年8月	ハバロフスク、ウラジオストク	秋田市、上越市、舞鶴市、事務局 5人

■ 平成28(2016)年 ハバロフスク・ウラジオストク行政研修

◇ 主な視察・訪問先

- ・ハバロフスク市行政府 写真①
- ・在ハバロフスク日本総領事館
- ・ハバロフスク日本センター
- ・JGC Evergreen (日揮の野菜温室) 写真②
- ・ハバロフスク市内の旅行代理店「Dalgeo Tours」
- ・ウラジオストク市行政府 写真③
- ・在ウラジオストク日本総領事館
- ・ウラジオストク日本センター
- ・センコンロシア
- ・北海道銀行ウラジオストク駐在所 写真④

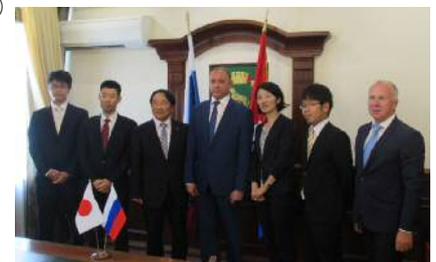
①



②



③



④



◇ 参加者アンケートより (抜粋)

- ・秋田市商工貿易振興課 及川全主任 (当時)
私自身、初めての極東ロシアで行政を始めとし、広く見ることができ良かった。この機会を通じ、会った他都市の方とも交流を深め、今後につなげて行きたい。
- ・上越市産業立地課 田中温主事 (当時)
JGCやSENKONなど、ロシアでの販路開拓のような事業は大変興味深かった。現地へ行き、現地の人と交流しなければ分からないことが大変多いと感じた。4泊5日だが今回参加することで現地の状況や日本への期待感などに触れ、参考になった。
- ・舞鶴市みなと振興・国際交流課 東康太主事 (当時)
各市単独では出来ない経験がたくさん出来てとても勉強になった。折角の機会なので、各市のプレゼン or ブリーフィング等を準備して発表し合うのも良いかと思う。

4) 講演会の実施 (平成 23 年度以降の講演会のみ紹介)

- (1) 平成 23 年 6 月 通常総会 (東京都)
「私にとってのサハ (ヤクート) 共和国」
吉田 進 (公財) 環日本海経済研究所 名誉理事長
- (2) 平成 24 年 5 月 酒田市での担当課長会議
「山形県とロシアの貿易の現状」
阿部 幸夫 山形県対岸貿易アドバイザー
- (3) 平成 24 年 6 月 通常総会 (東京都)
「日ロ関係の展望について」
古田 恵子 外務省欧州局日露経済室 首席事務官
S. V. ジョーストキ 在日ロシア連邦大使館 参事官
- (4) 平成 24 年 10 月 敦賀市での担当課長会議
「ロシア極東と中国東北地方の物流の現状」
佐藤 尚 (公財) 環日本海経済研究所 経済交流部長
- (5) 平成 25 年 6 月 通常総会 (東京都)
「安倍首相の訪ロと今後の日ロ関係の展望について」
遠藤 寿一 (一社) ロシア NIS 貿易会 ロシア NIS 経済研究所長
- (6) 平成 26 年 5 月 佐渡市での担当課長会議
「ウクライナ情勢が日ロ地域間交流に及ぼす影響について」
V. V. クラコーフ 新潟市ロシア交流担当顧問
(元新潟ロシア連邦総領事)
- (7) 平成 26 年 6 月 通常総会 (東京都)
「ウクライナ情勢と日露関係」
松尾 浩樹 外務省欧州局日露経済室主席事務官
- (8) 平成 26 年 10 月 富山市での担当課長会議
「北陸地域とロシアとの経済交流の変化と課題 - 富山県を中心に」
野村 允 (財) 富山県新世紀産業機構 環日本海経済交流センター
貿易投資アドバイザー
- (9) 平成 27 年 4 月 上越市での担当課長会議
「ロシア極東における先行発展区について」
新井 洋史 (公財) 環日本海経済研究所 調査研究部長
- (10) 平成 27 年 6 月 通常総会 (東京都)
「ロシアの新極東政策 - 新型特区とウラジオストク自由港」
齋藤 大輔 (一社) ロシア NIS 貿易会 ロシア NIS 経済研究所次長
- (11) 平成 27 年 10 月 由利本荘市での担当課長会議
「ロシア ウラジオストクを訪れて ~ 第 25 回日ロ沿岸市長会議参加から感じたこと」
石川 裕 由利本荘市副市長
- (12) 平成 28 年 6 月 通常総会 (東京都)
「最近の日露関係とロシア情勢」
林 直樹 外務省欧州局日露経済室 首席事務官
- (13) 平成 28 年 10 月 長岡市での担当課長会議
「日露関係 (地域間交流、自治体交流含む)」
清水 保彦 外務省欧州局ロシア課 課長補佐

- (14) 平成 29 年 5 月 男鹿市での担当課長会議
「秋田県内企業のロシア極東ビジネスの現状とジェトロ支援策」
大山 明裕 日本貿易振興機構 (JETRO) 秋田貿易情報センター所長
- (15) 平成 29 年 6 月 通常総会 (東京都)
「ロシア経済の現状と日ロ経済関係」
中居 孝文 (一社) ロシア NIS 貿易会ロシア NIS 経済研究所調査部長
- (16) 平成 29 年 10 月 射水市での担当課長会議
「日本海新時代」
杉山 正樹 北陸 AJEC (北陸環日本海経済交流促進協議会)
理事・経済交流部長
- (17) 平成 30 年 5 月 燕市での担当課長会議
「《玉川堂》ロシアビジネスのこれまでとこれから」
玉川 基行 株式会社玉川堂 代表取締役
- (18) 平成 30 年 6 月 通常総会 (東京都)
「最近の日露関係とロシア情勢」
林 直樹 外務省欧州局日露経済室 首席事務官
- (19) 平成 30 年 10 月 高岡市での担当課長会議
「ロシア極東と伏木富山港」
細川 英明 伏木海陸運送株式会社 営業本部国際物流部 取締役部長
- (20) 令和元年 5 月 敦賀市での担当課長会議
「人道の港 敦賀について」
岡田 卓也 敦賀市産業経済部人道の港発信室 次長
- (21) 令和元年 6 月 通常総会 (東京都)
「ロシア及びロシア極東における最近の経済状況」
中居 孝文 (一社) ロシア NIS 貿易会ロシア NIS 経済研究所調査部長
- (22) 令和元年 10 月 新潟市での担当課長会議
「ロシアへの日本酒輸出について」
高橋 克郎 (株) JSN 代表取締役

◆ 通常総会

毎年 6 月に東京都で行われる全国市長会総会に合わせ、本会通常総会を開催。会員 (会員各市の市長) が集まり、過年度の事業報告と収支決算、今年度の事業計画及び収支予算などを議決。

◆ 担当課長会議

会員市で日ロ沿岸市長会の事務を担当する課の課長らが年数回集まり、会の運営全般について協議。会員市持ち回りで開催されており、情報交換・意見交換の場ともなっている。

7 写真で振り返る 50 年の歴史

～ 会議風景の変遷 ～



第1回 (1970年、ハバロフスク市)



第2回 (1971年、新潟市)



第3回 (1972年、イルクーツク市)



第4回 (1973年、金沢市)



第5回 (1975年、ブラーツク市)



第6回 (1977年、富山市)



第7回 (1979年、ウラン・ウデ市)



第8回（1981年、酒田市）



第9回（1983年、ハバロフスク市）



第10回（1985年、新潟市）



第11回（1987年、イルクーツク市）



第12回（1989年、山形市）



第13回（1991年、ウラジオストク市）



第14回（1993年、秋田市）



第15回（1995年、ユジノ・サハリンスク市）



第16回 (1997年、函館市)



第17回 (1999年、ナホトカ市)



第18回 (2001年、新潟市)



第19回 (2003年、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市)



第20回 (2005年、金沢市)



第21回 (2007年、ブラゴベシチェンスク市)



第22回 (2009年、函館市)



第23回 (2011年、ヤクーツク市)



第24回 (2013年、舞鶴市)



第25回 (2015年、ウラジオストク市)



第26回 (2017年、新潟市)



第27回 (2019年、ペトロバヴロフスク・カムチャツキー市)

～ 深まる絆 交流の一コマ ～



歓待を受ける日本側代表団一行 (第1回 1970年 ハバロフスク市)



水族館にて (第2回 1971年 新潟市)



兼六園での記念撮影 (第4回 1973年 金沢市)



学校訪問の様子 (第5回 1975年 ブラーツク市)



視察風景 (第6回 1977年 富山市)



児童プログラムの鑑賞
(第7回 1979年 ウラン・ウデ市)



新潟空港での出迎え
(第8回 1981年 酒田市)



レーニン像へ献花
(第9回 1983年 ハバロフスク市)



もちつきを楽しむ (第10回 1985年 新潟市)



永遠の火への献花 (第11回 1987年 イルクーツク市)



板の間で和食体験 (第12回 1989年 山形市)



温かみあふれる手書きの看板
(第13回 1991年 ウラジオストク市)



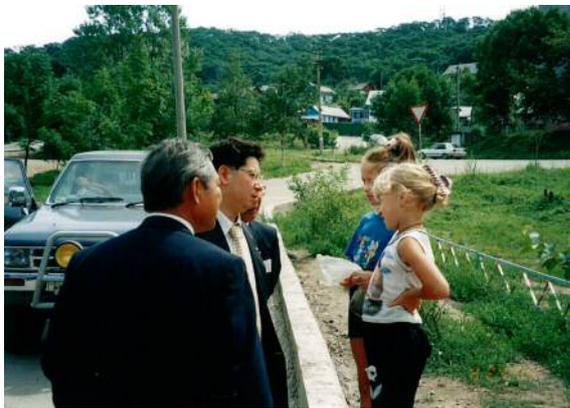
竿灯まつりに参加
(第14回 1993年 秋田市)



ロ日友好会館定礎式
(第15回 1995年 ユジノ・サハリンスク市)



ロシア人墓地参拝 (第16回 1997年 函館市)



子どもたちと談笑 (第17回 1999年 ナホトカ市)



共同コミュニケ調印に乾杯 (第18回 2001年 新潟市)



ロシアの温泉はプールの如く広く、深い
(第19回 2003年 ペトロバヴロフスク・カムチャツキー市)



ひがし茶屋街で
市民とくつろぐ
ソコロフ団長
(第20回 2005年
金沢市)



ロ日センターメンバーによる着物姿の歓迎
(第 21 回 2007 年 ブラゴヴェシチェンスク市)



昭和新山でのロシア側代表团
(第 22 回 2009 年 函館市)



シャーマン(右)のお祓いを受ける会議参加者
(第 23 回 2011 年 ヤクーツク市)



天橋立で「股のぞき」を試みるロシア側参加者
(第 24 回 2013 年 舞鶴市)



夕食会で披露された、両国国旗をあしらった特製
ケーキ (第 25 回 2015 年 ウラジオストク市)



古町芸妓と記念撮影をする会議参加者
(第 26 回 2017 年 新潟市)



カムチャツカの先住民民族
コリャーク人の舞踊団と
交流する会議参加者
(第 27 回 2019 年
ペトロパヴロフスク・
カムチャツキー市)

～ 支えられて50年 ～

会議通訳の様子



第13回会議



第21回会議



第22回会議

会議における言語の壁を乗り越えるため、通訳の力が欠かせない。事前に用意された発言はもちろんのこと、質疑応答や自由な意見交換でも見事な同時通訳をこなしてくださる通訳の方々のお陰で、会議が円滑に進行する。

コミュニケ調整の様子



第13回会議



第20回会議

会議で協議された内容や合意事項、両国政府への提言などをとりまとめた共同コミュニケを毎回日ソ双方の参加者名で署名、採択している。2日間にわたって行われる会議中、本会とロ日極東シベリア友好協会の事務局間では夜を徹してコミュニケの文案の調整が行われる。

8 日口沿岸市長会規約

(目的)

第1条 本会は、日本の日本海沿岸をはじめとする地域とロシア連邦極東シベリア地域の親善友好と経済協力を促進し、両地域の発展を図ることを目的とする。

(名称)

第2条 本会は、日口沿岸市長会と称する。

(事業)

第3条 本会は、第1条の目的を達成するため次の事業を行なう。

- (1) ロシア連邦極東シベリア地域の諸都市の市長と日口沿岸市長会議を継続的に開催すること。
- (2) ロシア連邦極東シベリア地域の諸都市とともに両地域の親善友好、経済協力、都市問題に関する調査、研究、情報交換等を行うこと。
- (3) 日ロ両地域の親善友好と経済協力の促進に関し、関係機関へ意見を具申すること。
- (4) その他本会の目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 本会の会員は、本会の目的に賛同する日本海沿岸をはじめとする地域の都市の市長とする。

(会費)

第5条 会員は、別に定めるところにより会費を納入しなければならない。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 代表幹事 1 人
 - (2) 幹事 若干人
 - (3) 監事 若干人
- 2 前項の役員は、総会において会員の中から選任する。

(役員職務)

第7条 代表幹事は、会務を総理し、本会を代表する。

- 2 幹事は、代表幹事を補佐し、代表幹事に事故ある時は、あらかじめ定めた順序によりその職務を代理する。
- 3 監事は、本会の経理を監査する。

(役員任期)

第8条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、次期の役員が選任されるまでは、前任者がその職務を行なうものとする。

(総会)

第9条 総会は、毎年1回代表幹事が招集する。ただし、代表幹事が必要と認めたときは、臨時に会議を招集することができる。

(総会の議決事項)

第10条 次に掲げる事項は、総会の議決を経なければならない。

- (1) 規約を改廃すること。
- (2) 事業計画及び収支予算を定めること。
- (3) 事業報告及び収支決算を認定すること。
- (4) 本会の解散に関する事項
- (5) その他必要と認められる事項

(議決)

第11条 総会の議決は、出席会員の過半数以上の同意がなければならない。

(議長)

第12条 総会の議事は、代表幹事がつかさどる。

(代行)

第13条 会員である市長に事故があり、又は欠けている場合においては、当該会員である市長の代理人が当該事故があり、又は欠けている市長の職務を代行できる。ただし、議長の職務を執行する場合においては、この限りでない。

(事務局及び職員の設置)

第14条 本会の事務局を代表幹事の所在地に置くものとし、代表幹事は事務局に関する規定を定め、職員を任免する。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(委任)

第16条 この規定に定めるもののほか、本会の運営に関して必要な事項は代表幹事が定める。

附則 この規約は、昭和45年10月13日から施行する。

附則 この規約は、平成4年6月4日から施行する。

附則 この規約は、平成7年6月8日から施行する。



このたびの 50 周年記念誌は、
2010 年に発行した「日ロ沿岸市長会設立 40 周年記念誌」に
その後の活動実績などを追加し、更新したものです。
編集にあたって多くの皆様よりご協力をいただきましたことに
心より感謝申し上げますとともに、
本会の活動へのますますのご理解・ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

日ロ沿岸市長会設立 50 周年記念誌

発行 / 日ロ沿岸市長会

事務局 / 〒951-8554 新潟市中央区古町通 7 番町 1010 番地
新潟市観光・国際交流部国際課内

発行日 / 2020 年 12 月